

障がい者や高齢者など

# 社会的に弱い立場の人を自立へ導く

## 保健福祉大会

人にやさしい健康と福祉のまちづくり

### 「お互いさま」の気持ちを大切に みんなが力を出し助け合える社会へ

人にやさしい健康と福祉のまちづくりをテーマに総社市保健福祉大会（総社市・総社市社会福祉協議会主催）が1月14日、市民会館で開かれました。福祉関係者や市民ら約1000人が参加。厚生労働省社会・

援護局長の村木厚子さんの講演などを通じ、地域福祉の推進の契機となりました。村木さんは「地域共生社会に期待すること」をテーマに講演。少子高齢化が進み、社会を支える現役世代の負担が大きくなる一方

で、高齢者のボランティア参加率や障がい者の雇用が増えている現状を説明。「高齢者も障がい者も社会がもっている力のひとつ。力を引き出すお手伝いをすることが大事」と話しました。

また、文書偽造事件に巻き込まれ164日間拘留された経験から「支える人と支えられる人はその時々で変わる。「お互いさま」の気持ちを大切に、みんなが力を出し合えば暮らしやすい社会になる」と話しました。



村木 厚子氏

高知県出身。高知大学卒業後、労働省に入省。障がい者雇用や障がい者福祉を担当する課長を歴任。厚生労働省雇用均等・児童家庭局長、内閣府政策統括官を経て、平成24年9月から厚生労働省社会・援護局長に就任

## 障がい者ワークわく そうじゃ就職面接会

### 障がい者千人雇用の実現に向け 障がい者と企業・事業所と の素敵な出合いの場に

障がい者の就労を支援しようとする企業との出合いの場となる「障がい者ワークわく そうじゃ就職面接会」を1月30日、サンロード吉備路で開催しました。

市内の企業10社をはじめ、福祉的就労で雇用契約を結ぶA型事業所4社と就労移行を支援するB型事業所2社の計16社が面接窓口を開設。参加者は、職業能力に応じた企業を選ぶことができました。

障がい者40人が参加。仕事の内容や職場環境などについて、企業や事業所の担当者から熱心に話を聞いていました。また、障がい者千人雇用センターのスタッフが面接をいっしょに受けたり、個別に相談を受けたりするなど、障がい者千人



各企業のブースを回り面接に臨む参加者。障がい者千人雇用センターのスタッフも面接に加わりサポートしていた

雇用の実現に向け全力で歩を進めています。昨年引き続き2回目となった市主催の面接会は他に例がなく、市と総社地区

雇用開発協会、ハローワーク総社、総社商工会議所が連携して開催しました。**問い合わせ** 福祉課障がい福祉係（☎8269）

## 働く障がい者の 暮らしを支援



ケアホーム「今日も元気」

障がいのある人が地域で自立した生活を送ることができるよう、食事の提供や健康管理など、日常生活の支援を行う居住系サービス施設、ケアホーム「今日も元気」が1月17日、中央三丁目に開所しました。

同施設は、NPO法人小牧の里（こほくのさと）が運営。就労している、または就労が見込まれ、自立した生活を希望する18歳以上の障がい者6人が入居することができます。



同大会では保健福祉に功労のあった個人65人と15団体に、市や市社会福祉協議会から賞状や感謝状が贈られたほか、ロビーでは障がい者就労支援施設のパネル展示や、カミガツジプラザでは福祉団体によるバザーも行われました。また、村木さんと片岡市長による対談もあり、総社市が進める障がい者千人雇用などについて意見交換しました